



鬼頭 朋宏

生年月 1987年9月三重県生まれ
 最終学歴 2012年名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻修了
 業務経歴 2012年大成建設㈱入社
 現在、関西支店設計部
 ●担当した主なプロジェクト
 2013年 ツムラ㈱静岡工場食堂棟
 2015年 アース環境サービス㈱ 彩都総合研究所T-CUBE
 2016年 シミックファーマサイエンスバイオリサーチセンター
 2017年 大成建設㈱関西支店リニューアル
 2019年 近畿産業信用組合本店

■青年技術者のことば

「NARCHITECTURE 一本質的な価値のある建築をめざしてー」

NARCHITECTURE（ネイキテクチャー）とは「NATURE」と「ARCHITECTURE」を掛け合わせて私が考案した造語です。NATUREの語源には「自然、環境」といった意味の他に「本質的、本来あるべき姿」といった意味も含まれています。私は建築（ARCHITECTURE）を単なる建物と捉えるのではなく、本質的な価値を含んだ環境・空間だと捉えておりその実現を目指しています。

18世紀ドイツを代表する作家ゲーテは「市民の要求をかなえる第二の自然こそが良き建築だ。」と記しています。ここで言う自然とは、緑や生態系だけではなく、自然界を形成する原理そのものだと考えます。人間が本質的に求める環境を建築に求めています。

ARCHITECTUREというスペルの中にはNATUREのスペルのうち「N」以外の全てが既に含まれています。私は設計においてプロジェクトごとにおける独自のアイデアである「N」をそっと添えてあげることで、ARCHITECTUREをNARCHITECTUREへと昇華し、「本質的な価値のある建築」の創造を目指して日々取り組んでいます。

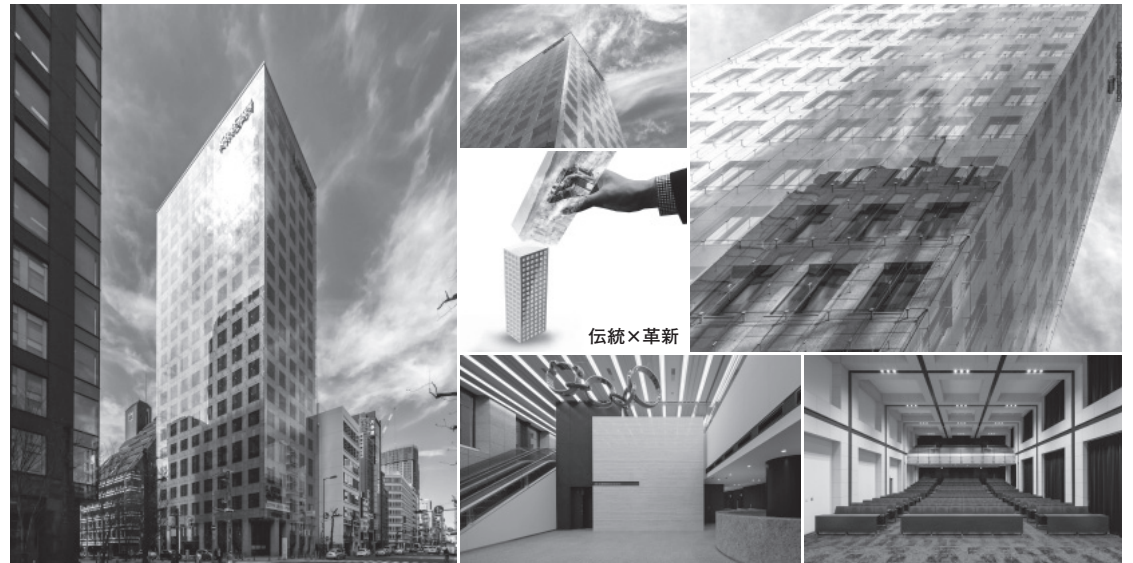
■すいせん者

平井浩之
 大成建設㈱ 関西支店 設計部
 設計部長

近畿産業信用組合本店

【都市型高層ZEBの実現／伝統×革新】

本計画は、様々な省エネ技術を導入することでこれまで難しいとされてきた都市型高層建築におけるZEBを実現した最先端の環境建築です。金融機関が密集し大阪のウォール街と呼ばれる北浜には、石張りの重厚なデザインの建物が多く見られます。それらの伝統を引継ぎながらも革新的なイメージを重ね合わせることで全く新しいデザインを目指しました。外装は、石のグリッドフレームにガラススキンを纏わせたダブルスキンとして環境性能も高めています。



伝統×革新

アース環境サービス㈱ 彩都総合研究所T-CUBE

【研究者と来訪者の交流を最大化するTWIN-CUBE】

本計画は、高度化・グローバル化する医薬品業界で様々な分野の研究者が交流し、そこで得られた知見を蓄積・応用させ新たなビジネスへと発展させる最先端の研究者交流拠点として位置づけることができます。研究者が利用する「ワーキングキューブ」と来訪者を迎える「ウェルカムキューブ」から構成されます。2つのキューブが交わる空間で両者のイノベティブな交流を最大化することを目指した建築です。



TWIN-CUBE

ツムラ㈱静岡工場食堂棟

【一つ屋根の下 大きな家のような食堂】

無機質な工場敷地内で働く従業員の皆様のためにあたたかい食事を提供するアットホームな食堂を計画しました。一枚屋根の下では様々な居場所を発見できます。



シミックファーマサイエンス㈱

バイオリサーチセンター

【森の中の研究所】

小淵沢に位置する森の中の研究所です。ハヶ岳南陵の緩やかな傾斜地になじむように、高さを抑え水平ラインを強調した伸びやかな端正な佇まいとしました。

